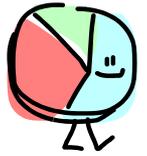




# 復興計画行政素案に関するアンケート結果（概要版）

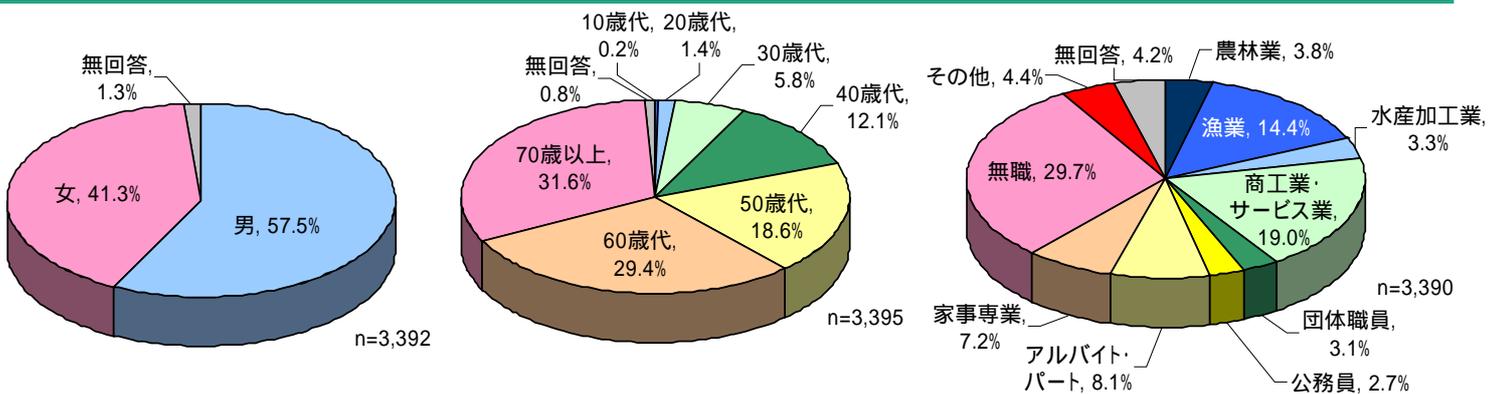
## 結果概要

目的	復興計画行政素案及び今後の居住に関する住民意向の把握
実施期間	平成23年10月15日（土）～10月25日（火）
配布対象	山田町民の全世帯（世帯主に回答を依頼）
配布・回収方法	（町内）広報添付配布、行政区長への提出 （町外）広報に同封して郵送配布、返信封筒による郵送回収
配布・回収状況	（配布枚数）7,007枚 （回収枚数）3,395枚 （回収率）48.5%



## 回答者の属性

- ・今回のアンケートは世帯主に回答を依頼していることから、男性で高齢者の割合が高くなっています。
- ・被災前の職業をみると無職が29.7%で最も多く、次いで商工業・サービス業が19.0%、漁業が14.4%となっています。

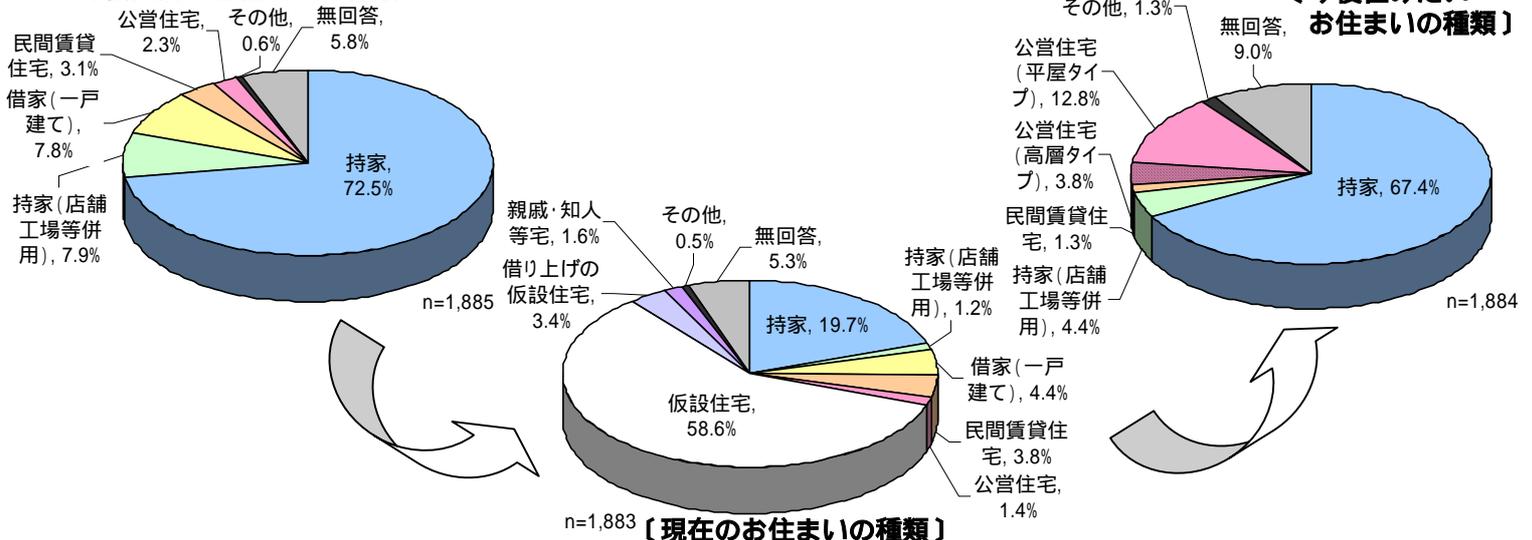


## お住まいの種類（被災した人を対象）

- ・持ち家の割合をみると、被災前は72.5%でしたが、今後住みたいお住まいでは67.4%となっており、5.1ポイント低下しています。
- ・一方、公営住宅の割合をみると、被災前は2.3%でしたが、今後住みたいお住まいでは16.6%まで増加しています。また、大部分の人が平屋タイプの公営住宅を希望しています。

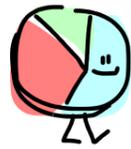
### 【被災前のお住まいの種類】

### 【今後住みたいお住まいの種類】



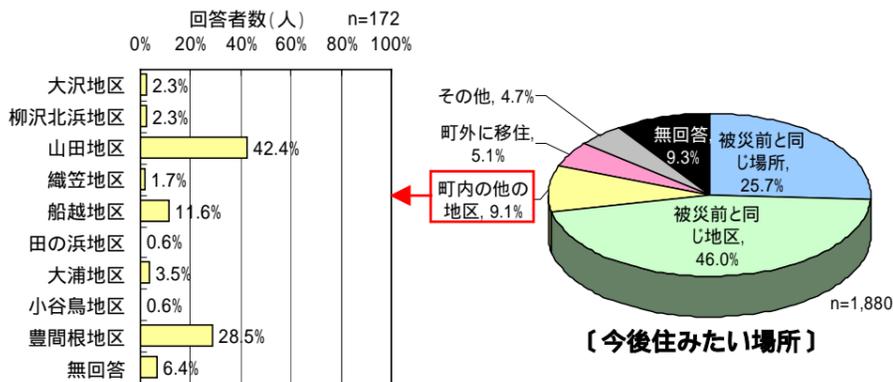
## 地区別の住民意向

地区別復興計画の比較案については、10月1日付の広報とともに配布している「山田町復興計画（行政素案）のあらまし」の「地区別復興計画」をご覧ください。



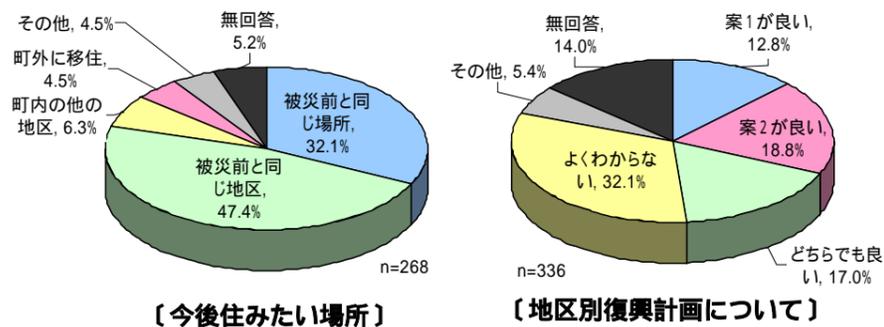
### 【山田町全体】

- 今後住みたい場所については、被災前と同じ地区が46.0%で最も多く、被災前と同じ場所の25.7%を合わせると7割以上の方が地区内に残ることを希望しています。
- 一方、町内の他地区へ移転を希望すると回答した人は9.1%います。その移転先をみると山田地区が42.4%で最も多く、次いで豊間根地区が28.5%となっています。
- 地区別復興計画については、複数案の比較に対して大部分の地区で大きな差はみられませんでした。また、「どちらでも良い」「よくわからない」という人も多くみられました。
- ただし、船越地区と田の浜地区は、盛土造成（案2）よりも切土造成（案1）を希望する割合が高くなっています。



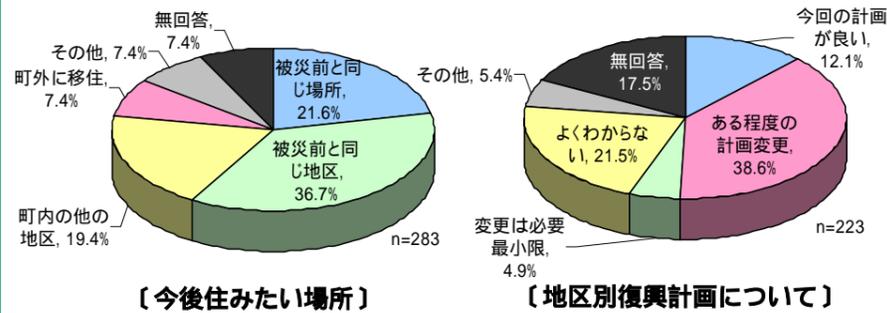
### 【大沢地区】

- 被災前と同じ地区の47.4%、被災前と同じ場所の32.1%を合わせると約8割の方が地区内に残ることを希望しています。
- 他の地区と比べて、被災前と同じ場所を希望する人の割合が高く、町全体と比較して6.4ポイント高くなっています。
- 「案1が良い」が12.8%、「案2が良い」が18.8%であり、案2を希望する人の割合が若干高くなっています。



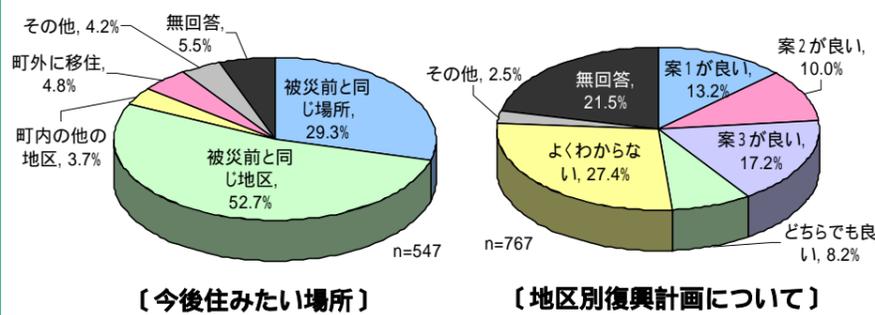
### 【柳沢北浜地区】

- 被災前と同じ地区の36.7%、被災前と同じ場所の21.6%を合わせると約6割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 一方、町内の他の地区を希望する人が19.4%おり、町全体と比較して10.3ポイント高くなっています。
- 地区別の復興計画について、「ある程度の計画変更」を希望する人が最も多く、38.6%を占めています。



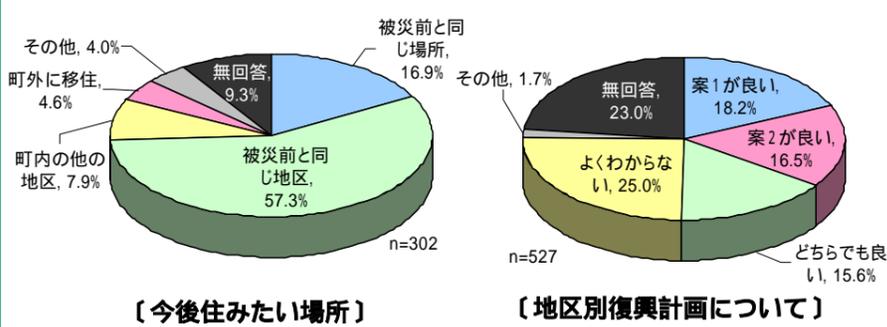
### 【山田地区】

- 被災前と同じ地区の52.7%、被災前と同じ場所の29.3%を合わせると約8割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 他の地区と比べて、被災前と同じ地区を希望する人の割合が高い傾向にあり、町全体と比較して6.7ポイント高くなっています。
- 「案3が良い」が17.2%であり、案1や案2よりも案3を希望する人の割合が若干高くなっています。



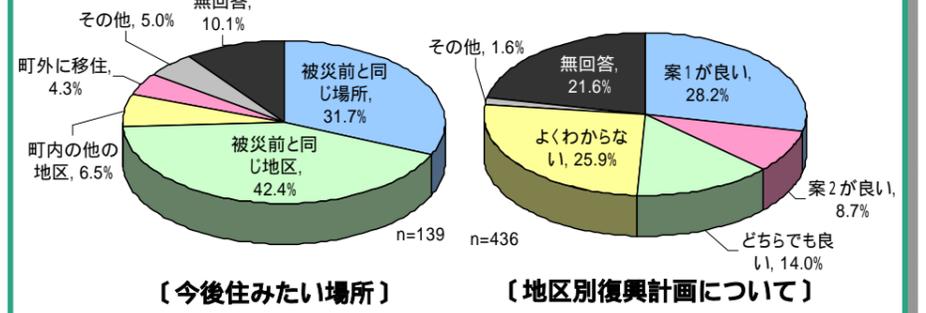
### 【織笠地区】

- 被災前と同じ地区の57.3%、被災前と同じ場所の16.9%を合わせると約7割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 他の地区と比べて、被災前と同じ地区を希望する人の割合が高く、町全体と比較して11.3ポイント高くなっています。
- 「案1が良い」が18.2%、「案2が良い」が16.5%であり、案1を希望する人の割合が若干高くなっています。



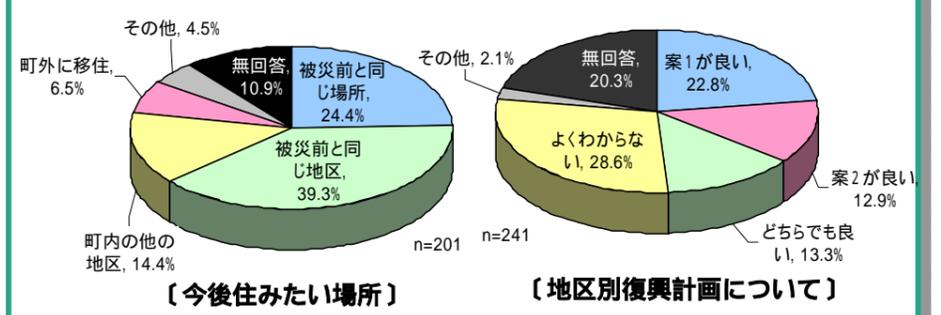
### 【船越地区】

- 被災前と同じ地区の42.4%、被災前と同じ場所の31.7%を合わせると約7割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 他の地区と比べて、被災前と同じ場所を希望する人の割合が高く、町全体と比較して6.0ポイント高くなっています。
- 「案1が良い」が28.2%、「案2が良い」が8.7%おり、案1を希望する人の割合が高くなっています。



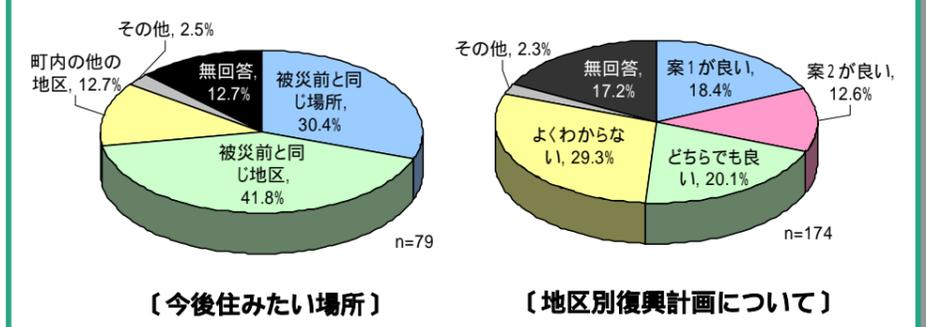
### 【田の浜地区】

- 被災前と同じ地区の39.3%、被災前と同じ場所の24.4%を合わせると約6割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 一方、町内の他の地区を希望する人が14.4%おり、町全体と比較して5.3ポイント高くなっています。
- 「案1が良い」が22.8%、「案2が良い」が12.9%おり、案1を希望する人の割合が高くなっています。



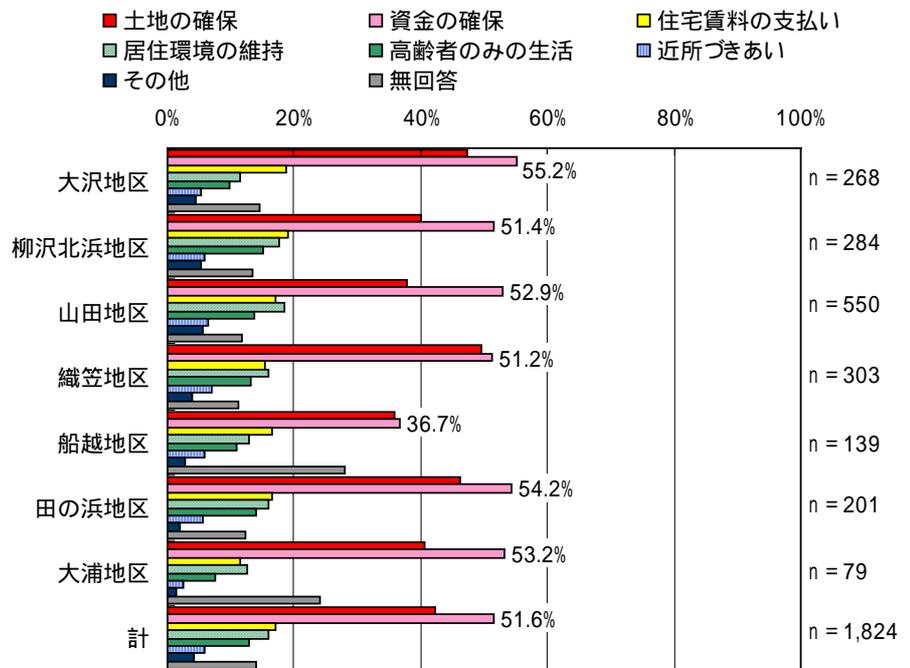
### 【大浦・小谷鳥地区】

- 被災前と同じ地区の41.8%、被災前と同じ場所の30.4%を合わせると約7割の人が地区内に残ることを希望しています。
- 他の地区と比べて、被災前と同じ場所を希望する人の割合が高い傾向にあり、町全体と比較して4.7ポイント高くなっています。
- 「案1が良い」が18.4%、「案2が良い」が12.6%であり、案1を希望する人の割合が若干高くなっています。



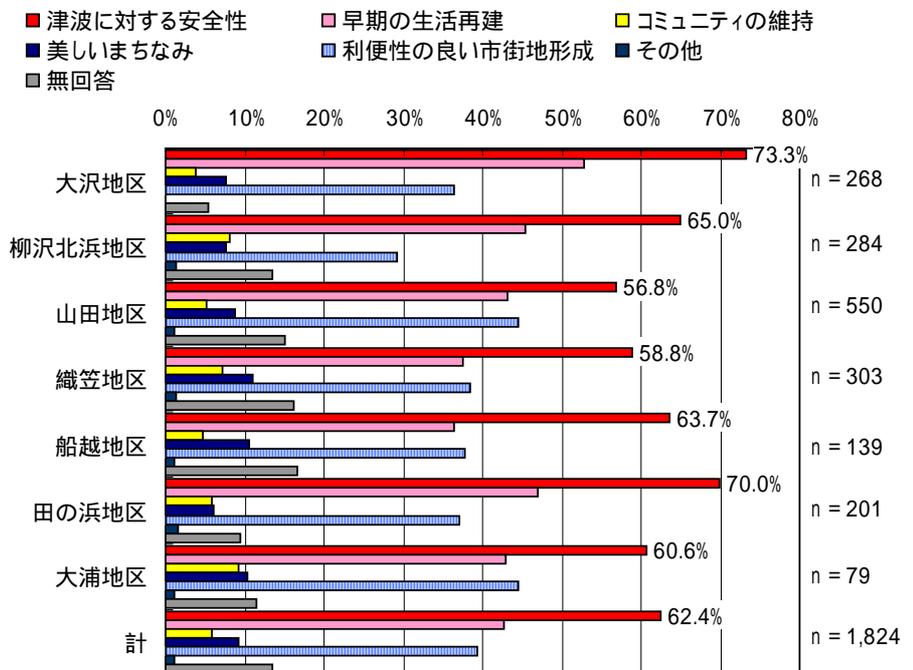
## 新しい家に住む上で不安に思うこと(複数回答)

- ・「資金の確保」に対して、船越地区以外の地区において半数以上の人不安に思っています。
- ・織笠地区、大沢地区、田の浜地区では、「土地の確保」に対して不安に思っている人の割合が他の地区と比較して高い傾向にあります。



## 復興まちづくりで重視すること(複数回答)

- ・全ての地区で「津波に対する安全性」が最も高くなっています。
- ・次いで「早期の生活再建」や「利便性の高い市街地形成」を希望する割合が高い傾向にあります。



## 主な自由意見

- ・高台に自然環境と調和した美しい街並みを造って欲しい。
- ・復興の基本理念として、津波から命を守ることを前提に、避難場所や避難路を整備して欲しい。
- ・どのような高い防潮堤を築いても自然の力には勝てないので、防災教育が大事である。
- ・新築できる人が多くいるとは考えられないので、公営住宅などを整備して欲しい。
- ・100%の防災はあり得ないので、減災を考えながら暮らしやすいまちづくりを目指すことが重要である。
- ・交通体系の整備が必要であり、自動車がなくても移動に困らない交通手段を確保して欲しい。
- ・山田町は漁業のまちなので、一日も早く漁ができるような体制づくりが必要である。
- ・地区ごとの懇談会を開き、具体的な計画を示して欲しい。

山田町復興計画行政素案、アンケート結果の詳細は、山田町ホームページで公開しています。  
(<http://www.town.yamada.iwate.jp/>)

【問い合わせ先】 山田町 復興推進課 TEL:(0193)82-3111(内線341、342)

復興推進課の事務室は、12/12(月)から本庁3階大ホールへ移転しました。移転に伴い、内線番号も変更しましたのでお知らせします。

